

# 一般質問 市政を問う

議員が市政全般について、その事務の執行状況や将来の方針等の報告・説明を求めたり質問することをいい、毎定例会で行われます。 ※質問者順に掲載しています。

議員名下のQRコードの読み込みで一般質問の録画配信をご覧いただけます。なお、パケット通信料が発生しますので、ご承知おきください。

## 特別支援学校 新保克佳

南八幡京ヶ島線 (公明党)

**質問** 特別支援学校では、今後児童・生徒が増加し、教室不足が懸念されるが、その対応は、また、建設後57年経過したが、新校舎を建設する考えは。

**答弁** クラス数確定後、普通教室が不足する場合は特別教室を転用し、それでも不足する場合はプレハブ校舎の設置を検討する。また、現校舎は耐震補強工事や空調設置、個々の児童の症状に対応した施設改修をしており、新設は今後の児童・生徒数の推移を見ながら研究したい。

**質問** 未整備の都市計画道路区域内に新たな建物が建設されているが、当該区域内の建物等に対する規制は。また、今後建築を予定する方への指導は。

**答弁** 都市計画法の建築制限により、階数が2階以下で地階を有せず、木造等で容易に移転、除却が可能な建築物のみを許可している。今後も法の規定に基づき適切な指導を行いたい。

**質問** 南八幡京ヶ島線を早期に全線開通させる必要があるが、市の考えは。

**答弁** 基本構想の作成後、数年間地元説明会等を実施したが、事業化には至らなかった。未整備区間は、県の寺尾木部線の整備に伴い交通状況も変化するため、市では、事業手法を含め、周辺地域の交通量や事業効果の見極めなど、研究していきたい。

## 依田好明

まちなか商店リニール (日本共産党)

**質問** 死亡原因1位であるがんの早期発見と医療費抑制のため、がん検診を無料化できないか。

**答弁** がん検診の無料化が受診率の向上につながる面もあるが、自己負担により自身の健康管理への意識向上が図れる面もあるため、今後の研究課題としたい。

**質問** 障害者への医療費無料を重度障害者だけでなく軽度障害者にも実施できないか。

**答弁** 福祉医療費制度の対象範囲は、県と同一基準で助成額の2分の1が県からの補助金である。県の基準以上の拡大部分は、市費での助成となり、加えて国保加入者分に対し国からの療養給付費等負担金が削減され、一般会計からの繰入金も増加するため、現行の基準で運用したい。

**質問** まちなか商店リニール助成事業の平成27年度までの

## 丸山 覚

在宅医療と介護の連携 保育士の処遇改善 (公明党)

**質問** 高齢者安心プランで在宅医療、介護に関する情報提供を目標に掲げているが、状況は。

**答弁** 情報提供は、ガイドブックの作成、公開講座の開催、身体状態に応じた医療、介護サービスの流れや制度を紹介するケアパスの周知がある。

**医療介護 ケアパス**は、医師、ケアマネジャー、介護サービス事業者等の連携による検討が必要であるため、ガイドブックや市民向け公開講座と並行して検討したい。

**質問** 高齢者あんしんセンターは医療と介護の連携拠点としてどのような機能を果たすのか。

**答弁** 高齢者が安心して地域で暮らせるよう医療や介護の専門職と連携、協働し、推進する役割があり、医療と介護の制度横断的な支援の役割も担っている。

**質問** 国の補助事業で、保育所の保育以外の業務を行う方の人件費を補助する制度がある。活用する自治体も多く、保育士の処遇改善や高齢者雇用につながると思うが、取り組む考えは。

**答弁** 現場では保育業務のほか施設清掃等、保育に関連する幅広い周辺業務を担うことは承知している。支援には財政措置を伴うため、国の補助メニュー等も見ながら、適切な支援のあり方を研究したい。

## 伊藤敦博

子どもの貧困対策 都市計画公聴会 (日本共産党)

**質問** 子どもの「相対的貧困」が社会問題となっているが、本市における子どもの貧困の現状把握について、生活保護世帯数などの近年の推移は。

**答弁** 18歳未満の児童がいる生活保護世帯は平成25年度174世帯で27年度164世帯、就学援助制度利用者は25年度1816人で27年度1899人、児童扶養手当受給者は25年度1464人で27年度1343人である。

**質問** 現在、民間ボランティアによる無料学習塾や子ども食堂の取り組みが広がっている。本市で支援できないか。

**答弁** 学習塾H O P E、みどの学習クラブ等が無料学習塾を行っている。本市でも生活困窮者自立支援制度における子どもの学習支援や民間団体との連携を研究していく。また、本市の子ども食堂は新しい取り組みであり、詳細な情報収集に努める。

## 後藤 彰

中小企業支援 チャイルドシート貸出事業 (新風会)

**質問** 市内中小製造業は、いまだに厳しい経営環境にあり、多くの課題を抱えている。この状況をどう捉えているか。

**答弁** 経済、雇用、地域経済の振興に大きな役割を担う中小製造業の積極的な振興を図り、本市経済の活性化を目指す必要がある。現在も中小企業振興のためさまざまな施策を進めている。

**質問** 中小製造業の振興のため、市が行っている主な支援策は。

## 依田好明

依田好明 (日本共産党)

**質問** 8月に開催された高崎都市計画に関する公聴会の目的と内容は。

**答弁** 県のコンベンション施設整備に伴い競馬場跡地の土地利用変更が必要となるため、施設周辺の環境や景観に配慮した地区計画及びアクセス道路決定による公園の位置を変更する原案について説明したものである。

**質問** 女性が活躍できる職場を目指すには、男性の育児参加や介護に対する理解が必要である。イクメン、イクボスを推進していくべきだが、考えは。

**答弁** 新規採用職員及び新任係長を対象に、男性職員の育児参加への理解と育児休業等取得しやすい職場環境づくりの研修を行っている。今後もイクボスの育成やイクメンの育児参加を



保育士の処遇改善を

## 堀口 順

男女共同参画 学校教育諸問題 (市民クラブ)

**質問** 女性が活躍できる職場を目指すには、男性の育児参加や介護に対する理解が必要である。イクメン、イクボスを推進していくべきだが、考えは。

**答弁** 新規採用職員及び新任係長を対象に、男性職員の育児参加への理解と育児休業等取得しやすい職場環境づくりの研修を行っている。今後もイクボスの育成やイクメンの育児参加を



検診車によるがん検診

**質問** 乳がんの早期発見のため正確な触診方法を広く周知する必要がある。正しいセルフチェック方法を教示する考えは。

**答弁** 若い世代に実践してもらうため、インパクトのある方法を考えている。ホームページへの自己触診法の動画の掲載や乳幼児健診の会場で映像を流すなど順次取り組みを進めたい。

**質問** 中学生の通級指導教室の増設や切れ目のない支援のため高校生の通級指導教室を新設する考えは。また、学校教育での障がいへの理解を深める取り組みは。

**答弁** 通級指導教室の中学生は増加傾向のため、施設の増設や

**質問** 乳がん検診の普及と啓発 障がい児への切れ目のない支援 小野 聡子 (公明党)

**質問** 職員の増員を県へ要望している高等学校の通級指導は制度化されていないが、本年度制度改正される予定である。また、小・中学校では福祉教育をカリキュラムに位置付け、点字教室、手話教室などを実施している。

**質問** 放課後子ども教室は、学童保育以外の児童の放課後の受け皿となり得るか。

**答弁** 放課後の学習指導の場として進めており、子どもたちの学力向上だけでなく、安心して過ごせる居場所づくりになっている。地域で子どもを育てる取り組みとなるよう回数や時間等の拡大を含め研究したい。